

競技運営・確認事項・大会特別規則

1. 競技運営

(1) 競技規則

(公財)日本自転車競技連盟競技規則 2024年6月版および大会特別規則に則り競技を実施する。なお、全国高体連専門部ホームページ (<http://www.hs-cycling.com/>)からダウンロードできる最新の競技規則解説を監督および競技者は熟読しておくこと。

(2) 主要競技役員

総務委員長：中野目 啓

2. 大会特別規則（及び競技運営確認事項）

(1) 記録の配信

スタートリスト、リザルト等のコミュニケは記録速報板、またはいわき平競輪ホームページの特設サイトに掲示するので配布しない。

変更等があった場合は、いわき平競輪ホームページの特設サイトに掲載するか、監督会議の際に周知する。

(2) 自転車 大会特別規則

- ①ハンドルはドロップハンドルにする。
- ②1kmTT・200mFTTで使用できる自転車のギヤ比は、 $49 \times 15(3.27)$ 以内とする。
- ③ケイリンで使用できる自転車のギヤ比は、 49×14 とする。
- ④フレーム・ホイールは、カーボン製品使用可とする。

(3) ヘルメット

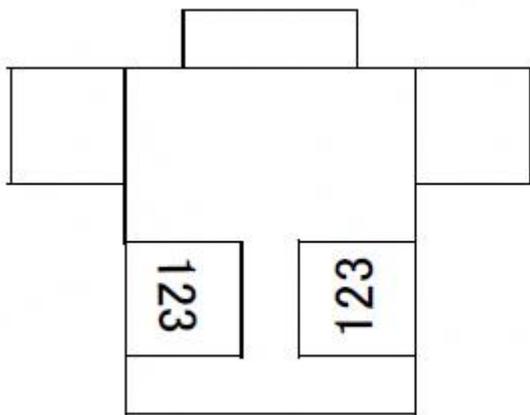
- ①選手はJCF公認およびJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も含め使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- ②あごひもが緩んでいる状態での使用は認めない。（装着時にあごとあごひもの間隔は指二本程度まで）
- ③JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。
 - ・1kmタイムトライアル
 - ・200mフライングタイムトライアル

(4) ヘルメットカバー

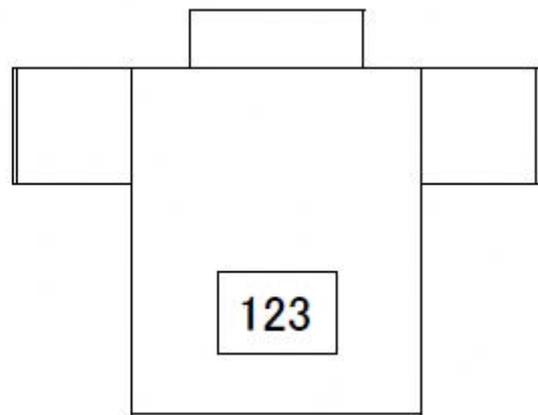
- ①トラック・レースの男女ケイリンで使用するのでヘルメットカバーを装着することが可能なヘルメットを準備すること。**大会特別規則**
- ②上記種目については、マグネット等で装着するシールドの使用は脱落防止のため禁止する。**大会特別規則**
- ③トラック・レースのヘルメットカバー配付は招集所で行う。回収についてはホーム側退場口付近に回収かごを設置する。

(5) ボディ・ナンバー（ゼッケン）装着方法

- ①男女タイムトライアルについては1枚でもよい。1枚の場合は腰部中央に取り付ける。それ以外の種目については、5cm程度の間隔を空け、後方から読み取れる状態で2枚腰部に付けること。
- ②ケイリンは予選から2枚付けること。
- ③ゼッケンは折り曲げたり切ったりしてはならない。
- ④透明ポケットにゼッケンを収納するタイプのユニフォームにおいては、タイム系種目のみ使用を認め、競走系種目に出場する場合は、ポケットの外側にゼッケンを取り付けること。



(トラックレース: 2枚)



(トラックレース: 1枚)

(6) 映像記録装置

個人情報保護の観点から自転車への装着を認めない。**大会特別規則**

(7) アームウォーマーおよびニーウォーマー

身体保護のため気象条件により着用を許可する場合がある。

3. トラック・レース

(1) 禁止事項

- ① 走路保護のため、チェーンオイルの過度な塗布、アップオイル等を体に塗ることおよびレーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- ② 選手ピット設営は禁止する。
- ③ 競走種目における競技中のハンドル持ち替えは単独で走行している場合にのみ許容する。**大会特別規則**
- ④ フィニッシュライン直前・直後における片手離しは禁止する。**大会特別規則**

(2) 走路入退場方法（選手・監督等）

ホームストレート付近（敢闘門）に入場口と退場口を設ける。

(3) 招集・自転車検査

- ① 招集・自転車検査所はホーム側入退場付近に設置し、出走および装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- ② 招集および自転車検査は各自の出走予定時刻の15分前までに完了させること。
- ③ 検車エリアからピット側へ出た自転車は、再入場時であっても自転車検査の対象となる。
- ④ 競技終了後、指示を受けた競技者は、自転車サイズおよび装備の（靴下長含む）のチェックを受けること。

(4) スタート方法

- ① スタートに間に合わない場合は、出走することができない。スペアホイールや工具等を必ず準備しておくこと。
- ② 発走機（スターティング・マシーン）使用種目
タイムトライアルについては発走機を使用する。発走機への自転車セッティングは原則として各チーム員が行うこと。
- ③ ホルダー発走機を使わない種目（200mFTT）は、競技役員がホルダーを務める。

(5) タイムトライアル

欠場者及び機材トラブルなどの理由から同じ組の選手が出走できない場合は、単独発走となる。ただし、同様の選手が複数いる場合は出走番組が変更となる場合もある。

(6) ケイリン

- ① ペーサはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は30km/h、フィニッシュ2周前のフィニッシュラインを過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に50km/hまで加速する。**大会特別規則**
- ② ペーサー離脱後は最終スプリント状態とみなすので、各自の走行ラインを厳守すること。**大会特別規則**



競輪甲子園

— 空中バンク —
いわき平けりん

HIGH SCHOOL KEIRIN CHAMPIONSHIP IN IWAKI TAIRA